



令和への想い

「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められた新元号「令和」の時代が始まりました。

子育て支援センターでは、新時代に向け「一人ひとりが明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせる」ことを願い、来館する子どもたち（約90名が参加）の手形アートをつくりました。

センターには色とりどりのちいさな手形アートが飾られています。

子育て支援センター

5 / 8
水



愛知県交通安全大使委嘱状伝達式

大口町役場

5 / 14
火

おおぐち元気戦隊ダッシュシユマンが愛知県交通安全大使に委嘱され、委嘱状伝達式で江南警察署の伊勢村署長から委嘱状が手渡されました。

昨年本町での交通事故による死者は1名で、平成31年1月から3月までで人身事故が47件発生しています。これは、昨年同時期と比べて約40%も増加しています。伊勢村署長から「交通事故が1件でも減少するように啓発活動を行ってほしい」と話されました。



町史編さん講座

中央公民館

5 / 19
日



町史編さん室では、令和3年度に『大口町史〜現代史編〜』を刊行するため町内外の皆さんに、昭和20年頃から町内であった出来事などの情報提供をお願いします。

今回で7回目となる町史編さん講座は、「町民の皆さんから教えていただいたこと」と題し、これまで寄せられた情報の中から、昭和46年までの役場庁舎は江南市にある尾北高校の校舎の一部を移築した建物だったことなどを町史編さん室職員から説明を受けました。

後半は「日記を読み解く」。町内にお住まいの方から「亡くなった父の日記が、町史の編さんに役立つのなら」と提供があった日記（昭和3年から昭和51年）を読み解きます。

昭和19年8月5日の日記には、3度目の出征の日に、布袋駅から多くの人と名古屋へ向かい、護国神社でお参りをしたと書かれてありました。

日記は、今ではわからない出来事や、その時々の人々の想いが伝わる貴重な資料です。日記や写真などお貸出しいただける方は、町史編さん室（☎95-3464）までお知らせください。



NPO法人まちねっと大口法人設立5周年記念講演

ほほえみプラザ

5 / 12
日

長い間まちづくりに関わり、5年前に法人を設立したNPO法人まちねっと大口が、講師に北村隆幸さんを迎え、記念講演会「地域の資源が循環するまちづくり」を開きました。「まちづくりの理想は、まちの中で地域の資源である人、自然、歴史、食などが活かされ、地域の富を築き、みんなが嬉しい循環が生まれること」と北村さん。協働による課題解決のための手法とポイントを学びました。



大口町消防団小型ポンプ操法大会

町民会館第1駐車場

6 / 9
日

第33回大口町消防団小型ポンプ操法大会がおこなわれました。

優勝 河北分団
準優勝 余野分団
3位 予防啓発団

最優秀番員
指揮者 堀田敏暢(河北分団)
1番員 中村彰宏(河北分団)
2番員 中村光宏(河北分団)
3番員 磯谷和昭(河北分団)
新人 佐藤広基(余野分団)



▲煙道体験



大口町子ども会防災あそびパーク

大口町子ども会連絡協議会

5 / 19
日

小学6年生を対象に「防災あそびパーク」が中央公民館でおこなわれ、13単子(約110名)が参加しました。2つのグループに分かれ「煙道体験&消防士さんのお話を聞こう」を順に体験。被災地で人命救助をした消防士の話を聞き、災害の怖さや防災訓練の重要性を学びました。また、吹き出し体験や燈路の作成をおこない、楽しんで学ぶ姿が印象的でした。



▲力を合わせて大口町で飾る燈路の絵を描こう！